

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 7. 1

下水道機構の『新技術情報』 第386号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

先週火曜日の技術マニュアル活用講習会【大阪会場】の開催をもって、今年度の技術マニュアル活用講習会は終了いたしました。

今年度の技術マニュアル・技術資料の発表は8編と多く、朝から夕方までと長時間にわたる講習会となりました。ご参加いただいた方々には改めて厚く御礼申し上げます。

動画の方は鋭意制作中ですのでもうしばらくお待ちください。(後日、ホームページに掲載します)

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第386号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・人事異動がありました。

■機構の動き

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・AI・人工知能エキスポ展 (y. I さんからの投稿です)

■研究成果のおさらい

- ・2018年度年報【要約版】発刊までお休みします。

■ピックアップ！機構情報

- ・エンジニアリングリポート

(下水道におけるマイクロプラスチックの実態調査計画に関する検討)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・6/28付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●人事異動がありました。

【6/30 転出】※ () 内は転出先

研究第一部 主任研究員 金井秀樹 (日本水工設計(株))

研究第一部 研究員 山口真人 (JFE エンジニアリング(株))

資源循環研究部 主任研究員 梅染俊行（月島機械(株)）

【7/1 転入】※（ ）内は前職

研究第一部 総括主任研究員 佐々木隆（日本水工設計(株)）

研究第一部 研究員 石川大祐（JFE エンジニアリング(株)）

資源循環研究部 総括主任研究員 古屋一寿（月島機械(株)）

○第 383 回技術サロンを開催します！

日 時：令和元年 7 月 11 日(木) 16:00～17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：横浜市環境創造局 下水道計画調整部 下水道事業マネジメント課

担当課長 赤坂 真司氏

テーマ：横浜市下水道事業における国際展開・広報・技術開発の取組について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon383>

○「第 25 回 下水道新技術研究発表会」を 7/19（金）東京、7/24（水）大阪で開催します。

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果等の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。

【東京会場】令和元年 7 月 19 日（金）13:00～16:45

（会場）東京都千代田区 日比谷コンベンションホール（大ホール）

（定員）200 名

【大阪会場】令和元年 7 月 24 日（水）13:10～16:55

（会場）大阪市西区 大阪科学技術センター

（定員）120 名

※プログラム、お申込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/workshop25>

○下水道展'19 横浜の併催企画として

「[技術セミナー]「下水道における微量物質等への取組（仮）」～マイクロプラスチック問題を考える～」

を 8 月 7 日（水）に主催します！

日 時：令和元年 8 月 7 日(水) 10:00～12:00

場 所：パシフィコ横浜 会議センター511、512 ルーム

※詳細はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/sewage-works-exhibitions2019-eventm>

●2018 年 3 月発刊の 6 テーマの技術マニュアル・技術資料を会員専用サイト（図書検索）に追加しました。

今回掲載された 6 テーマは以下の通りです。

○下水道管路管理の包括的民間委託推進マニュアル（案）

○下水道管きょ内の水位予測機能を備えた管きょ内水位把握システムに関する技術資料

○効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲート設備に関する技術マニュアル

- 低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル
- 下水道由来肥料の利活用マニュアル～施用量をどのように決めるか～
- 下水処理場におけるエネルギー自立の可能性調査研究技術資料～ゼロ・エミッションを目指して～

※会員専用サイトはコチラ

<https://www.jiwet.or.jp/member-login-m>

。○○。

機構の行事予定

。○○。

- ・今週はありません。

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●AI・人工知能エキスポ展 (y.I さんからの投稿です)

このところ AI に関するニュースに事欠かない。チェス、将棋、囲碁、クイズなどのゲームやチャット、医療診断、建物などの劣化診断や未来予測などいろいろな分野で AI 技術が活用され始めている。AI 技術者の人材不足も深刻といわれており、技術革新の中核の一つが AI になっているというのが現状と思う。

私も AI に興味があり、昨年と今年と 2 年連続で東京ビックサイトで開催された AI・人工知能エキスポ展に行ってきた。会場は非常に多くの人でにぎわっており、出店数も今年は昨年の 1.5 倍に増えていた。出展者は日立などの大手メーカーからベンチャー企業までさまざまであった。分野としてはディープラーニング、機械学習、自然言語処理、ハードウェア、ビッグデータ、AI アプリケーションなどであった。下水道事業に役に立つ AI 技術は何かないかみると、画像認識による製品管理や劣化診断技術などがあったが数例であった。そもそも社会インフラに関する展示自体が少なかった。下水道では水処理の運転管理、雨天時の水位予測、施設の劣化診断の他、維持管理の様々な分野で活用の道があり、一部で取り組んでいると思うが、まだ始まったばかり。今後、多くの企業やベンチャーが社会インフラへの AI の活用を進めていき、下水道展でも AI 関係の出店があるといいなと個人的には思っている。

。○○。

研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します)

。○○。

次回は、2018 年度の年報【要約版】の発刊後、掲載します。(令和元年 8 月)

。○○。

ピックアップ! 機構情報

(下水道機構情報 Plus+ 16 号の中から記事をご紹介します)

。○○。

- ・エンジニアリングリポート

(下水道におけるマイクロプラスチックの実態調査計画に関する検討)

近年、マイクロプラスチック(以下、「MP」と表記)による水環境汚染が問題となって

います。国内外において海洋や河川でのMP調査は進められているものの、下水道における調査は限られており、調査方法、含有量、処理機能等への影響など解明されていない点が多いのが現状です。このような課題を踏まえ、下水道におけるMPの実態を把握することはMP問題の解決に向けて重要な事項であると考えられます。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-07-01-quarterly1>

WEB版機関誌下水道機構情報Plus+ 16号(最新刊)はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter16>

下水道機構情報Vol.13 No.28 2019.1(最新刊)はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報Vol.13 No.27 2018.7はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報ははこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○○。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

国からの情報

。○○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション(2019.6.28の情報です)

配信元:国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

早いもので今年度の第1四半期が終わります。

4月にインフォメーションの担当になってから、読者の方々より、読みやすくするためのアドバイスなどを時々いただき、大変励みになっています。

また、記事をご提供いただく省内外の皆様、いつもありがとうございます。

これからも叱咤激励、ニュースのご提供など、よろしくお願いいたします。

今週は、新下水道ビジョン加速戦略フォローアップ、雨天時浸入水、B-DASHなど、新しい動きが盛りだくさんです。

また、8月の「雨水ネットワーク全国大会2019in福岡」のご案内もあります。

特に九州方面の方は、是非ご出席されては如何でしょうか。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 第2回新下水道ビジョン加速戦略フォローアップ会合の開催について
(下水道企画課)
- 雨天時浸入水対策ガイドライン策定検討委員会の開催について (流域管理官)
- 「国土交通大臣賞 (循環のみち下水道賞)」の募集を延長します!! (下水道企画課)
- 令和元年度 予算執行調査の結果について【対象：B-DASH】
- 下水道展'19 横浜 併催企画「B-DASH ガイドライン説明会」を開催します。
～新たな4技術の概要と導入検討方法の説明と導入事例の紹介～ (下水道企画課)
- 「下水処理場の省エネ技術導入マニュアル (案)」の策定 (流域管理官)
- 第12回 雨水ネットワーク全国大会 2019 in 福岡 (8月23～24日)

-
-
- 第2回新下水道ビジョン加速戦略フォローアップ会合の開催について
(下水道企画課)

6月25日(火)に、第2回新下水道ビジョン加速戦略フォローアップ会合を開催し、熱心な議論が行われました。新下水道ビジョン加速戦略は、新下水道ビジョン (H26.7策定) の実現加速のため、社会情勢等を踏まえ、選択と集中により国が5年程度で実施すべき8つの重点項目及び基本的な施策を平成29年8月にとりまとめたものです。本会合は、毎年度、今後の施策の推進に向け、追加・修正すべき点がないか等の観点から、フォローアップするものです。

資料は、下水道部のHPに掲載しております。

⇒URL:

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000582.html

- 雨天時浸入水対策ガイドライン策定検討委員会の開催について (流域管理官)

6月27日、「雨天時浸入水対策ガイドライン策定検討委員会」(第1回)が開催されました。(委員長：東洋大学・花木啓祐教授)

本委員会は、老朽化や地震による被災、高強度降雨の増加等により、雨天時の分流式下水道の污水管等からの溢水等が報告されていることを踏まえ、雨天時浸入水の課題を整理し、効果的・効率的な対策を検討し、ガイドラインとしてとりまとめることを目的としています。

⇒(報道発表)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000413.html

- 「国土交通大臣賞 (循環のみち下水道賞)」の募集を延長します!! (下水道企画課)

国交省は、「循環のみち下水道」の実現に寄与する優れた取組みを全国展開するため、

5月14日から、令和元年度（第12回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」を募集を行ってきたところでございますが、このたび、追加募集をさせていただきます。皆様、この機会に是非応募をお願いいたします。

▼募集案内等の詳細は、国土交通省ホームページをご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000636.html

○ 令和元年度 予算執行調査の結果について【対象：B-DASH】

6月25日、財務省より令和元年度予算執行調査※の結果が公表されました。

※財務省が、予算執行の実態を調査して改善すべき点を指摘し、予算の見直しにつなげていく取組み

下水道革新的技術実証事業（B-DASH）が対象になっており、自治体における認知状況の改善等が指摘されました。

今後、国土交通省では、当該指摘を踏まえ、具体的な改善策を実施して参ります。

自治体の皆様におかれては、ガイドライン化された技術（下記国総研 HP 参照）について、今一度ご理解いただき、工事や調査等を行う際に、活用可能な技術があれば、活用をご検討いただきますようお願いいたします。

⇒財務省の報道発表

https://www.mof.go.jp/budget/topics/budget_execution_audit/fy2019/sy0106/0106b.html

(33) [国土交通省]

下水道革新的技術実証事業 (PDF: 400KB)

https://www.mof.go.jp/budget/topics/budget_execution_audit/fy2019/sy0106/33.pdf

【ポイント】

- ・ 今後の実証事業のテーマ選定のあり方の見直し
（下水道事業における重点課題の反映、自治体の要望に適合したテーマ選定）
- ・ P D C A サイクルの向上
（実証事業の結果、目標値を達成できなかった場合、技術の改良や今後の実証事業への活用の検討）
- ・ 過去の実証事業の導入促進
（コストや効果の情報の充実など普及啓発の方法の見直し。交付金事業実施にあたり、効果が認められた実証事業の導入が可能な場合、導入の検討の要件化）

⇒ガイドライン化された B-DASH 技術情報資料（国土技術政策総合研究所 HP）

http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/catalog_bdash/bdashcatalog.pdf

○ 下水道展'19 横浜 併催企画「B-DASH ガイドライン説明会」を開催します。

～新たな4技術の概要と導入検討方法の説明と導入事例の紹介～（下水道企画課）

昨年度実証研究を終了し、評価委員会において技術評価された4技術に関する技術説明及び平成26年度に採択された事業の導入事例を紹介します。

今回の説明会は革新的技術の概要説明に加えて、各技術の導入に適した処理場規模や条件、得られる課題解決や効果、導入による維持管理の変更点など、地方公共団体が導入をイメージできる内容へと変更して開催します。

多数のご参加をお待ちしております。

※参加を希望される方は、下水道展'19 横浜ホームページより事前登録をお願いします。

申し込みページアドレス：<https://www.gesuidouten.jp/Seminar/kikaku/#naiyou5>

ガイドライン説明会の開催概要

開催日時：8月7日（水）13：00～16：00

会場：会議センター 502 ルーム

募集人数：150名 先着順

申込締切：7月25日（木）

○「下水処理場の省エネ技術導入マニュアル（案）」の策定（流域管理官）

国土交通省は、下水処理場における省エネルギー化を促進するため、運転管理手法の改善および省エネ機器の導入による「下水処理場の省エネ技術導入マニュアル（案）」を策定しました。

⇒（報道発表）

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000414.html

○ 第12回 雨水ネットワーク全国大会 2019 in 福岡（8月23～24日）

SDGs から水循環のこれからを考える

～風かおり、緑かがやく、あまみず社会の実現に向けて～

（雨水ネットワーク全国大会 in 福岡実行委員会）

雨水活用や水循環系の健全化等に関わる、市民・企業・行政・学会等で形成する“緩やかな情報のプラットフォーム”「雨水ネットワーク」は、2008年に誕生し、昨年の10周年記念大会を経て、今年で11周年12回目を迎えます。

第12回大会は、近年のSDGsやグリーンインフラの動向を踏まえ、水循環社会の実現に向けて新たなステージへ第一歩を踏み出す会にしたいと考えています。

「雨水ネットワーク」が、「未来」に向けて、「人」を育て、新たな一歩を踏み出すために、多くの方々のご参加をお待ちしています。

日程：8月23日（金）～24日（土）

会場：福岡大学 A棟 AB01 教室ほか

主催：雨水ネットワーク全国大会 in 福岡実行委員会

⇒（詳細）<http://www.rain-net.jp/z-taikai.html>

【参考情報】

◆長良川で伝統「登り落ち漁」 白鳥の川漁師、今昔語る <6/26 中日新聞>

<https://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20190626/CK2019062602000266.html>

◆「大阪湾のカキ」新名物になるか きれいになり過ぎた海も課題<6/26 産経新聞>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190626-00000531-san-soci>

◆中津市、内水氾濫に備える地図作成 対象世帯に配布 <6/26 読売新聞>

<https://www.yomiuri.co.jp/local/oita/news/20190626-0YTNT50134/>

◆岡山で豪雨災害チャリティーイベント マグロ解体ショー、刺し身200人分振る舞いも <6/22 みんなの経済新聞>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190622-00000007-minkei-133>

- ◆マンホール図柄に赤ふん坊や登場 福井・高浜町のキャラ
〈6/28 北陸・信越観光ナビ〉
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190628-00000006-hokuriku-118>

- ◆広島で「ご当地マンホール」展 デザインマンホールや
全国のマンホールカード展示も 〈6/24 みんなの経済新聞〉
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190624-00000047-minkei-134>

- ◆【若者向け東京下水道発信プロジェクト】東京地下ラボ by 東京都下水道局
〈6/24 BIGLOBE ニュース〉
https://news.biglobe.ne.jp/economy/0624/prt_190624_4666044432.html

- ◆ばらずしやズワイガニ マンホールのふたの絵に 京丹後 〈6/22 京都新聞〉
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190622-00000010-kyt-126>

- ◆あべのハルカス、バイオガス発電システムが小型に 生ゴミ 1t で熱・電気を供給
〈6/19 環境ビジネスオンライン〉
<https://www.kankyo-business.jp/news/022633.php>

- ◆中部電など、豊橋で電気・ガス・水道を共同検針 〈6/24 日本経済新聞〉
<https://r.nikkei.com/article/DGXMZ046491640U9A620C1L91000?s=0>

- ◆文化、環境などで協力 浜松市、インドネシア・バンドン市と覚書〈6/27 静岡新聞〉
<https://www.at-s.com/news/article/politics/shizuoka/650634.html>

- ◆マイクロプラスチック、日本の海は世界平均の 27 倍…人体に影響ないのか？
〈6/24 AERA.dot〉
<https://dot.asahi.com/wa/2019062100015.html?page=1>

- ◆生きた金魚をトイレに流さないで……。巨大金魚の写真が訴える、
トイレの先で起きること 〈6/25 HUFFPOST〉
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190625-00010011-huffpost-int>

- ◆リスがマンホールにすっぽり。ドイツの消防署がネズミに続きリスも救助
〈6/24 HUFFPOST〉
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190624-00010002-huffpost-int>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町 3 番 1 号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>
